

事業計画 最新技術の風を受け、北九州市の未来へ漕ぎ出す 「ウインド・シップ・スタジアム」

1. 事業取組の基本的な考え方

**スタジアム基本コンセプト**

みんながつどい、にぎわいを生む**海ちか・街なか**スタジアム  
 夢と感動をうみだす**ダイナミック**スタジアム  
 環境未来都市にふさわしい**エコ**スタジアム  
 ものづくりの街北九州を発信する**街かど**ショールーム

**九電工グループの取組方針** 北九州の人と街を元気にし、小倉駅新幹線口のシンボルとなるスタジアムの整備及び運営・維持管理に取り組みます。

**北** 来た喜多 **九** Quality 級 **州** 蹴集

人を元気に！ 街を元気に！

**北九州スタジアム**

- 最新技術の風を受け、北九州市の未来へ漕ぎ出す「ウインド・シップ・スタジアム」 -

来場者に多くの喜びを提供する、ダイナミックスタジアムの整備

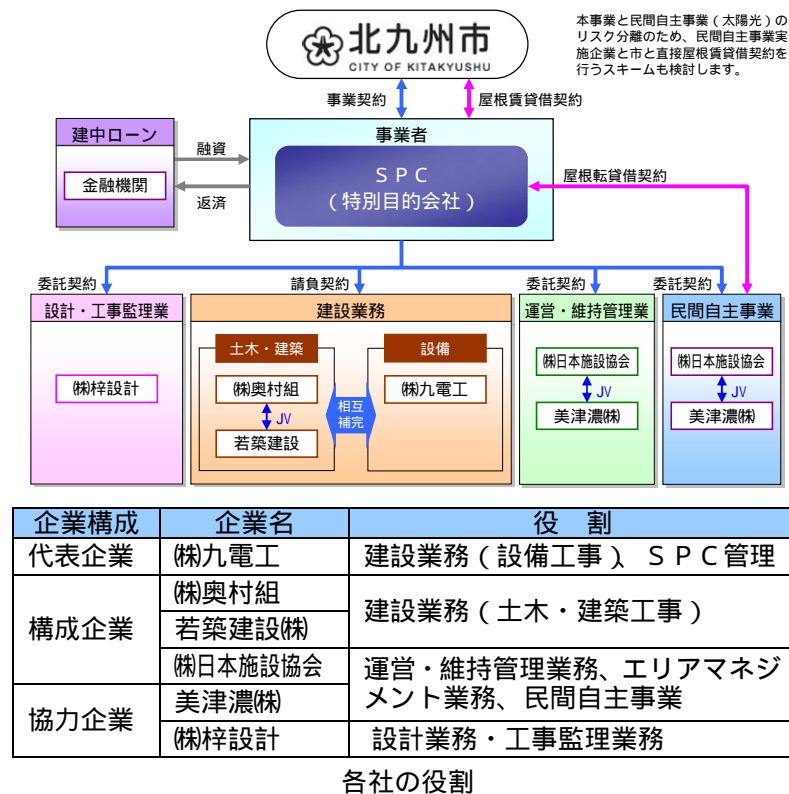
省エネ機器等を活用した Quality の高いエコスタジアムの整備  
 ギラヴァンツの級（レベル）up を支える快適な試合環境の提供

サッカー（蹴球）や各種イベントといった市民のスポーツ振興機会の提供  
 人の集まりを誘引する施設整備、イベント実施・誘致



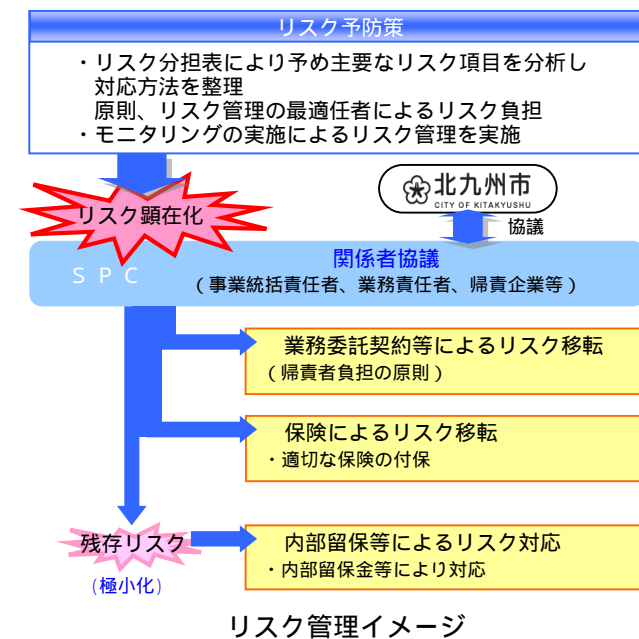
2. 事業実施体制

類似案件における多数の実績を有する企業と地域を知りつづけた地元企業の連携による盤石の態勢で臨みます。



3. 万全のリスク管理

九電工グループは、類似案件における多数の実績と優れたノウハウを有する各企業が協議を重ね、本事業において求められる業務範囲及び内容等を十分に理解し、**リスクの所在及び内容を具体的に把握するリスク分析**を実施したうえで、**万全のリスク管理を実施**します。



4. 事業スケジュール

市とSPCの連携、近隣施設との協議・調整を適切に行い、平成 29 年 3 月の Jリーグの開幕時に、本計画スタジアムが最適な状態で供用開始できるように関係各社一丸となって取り組みます。

事業年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31~42	H43	H44
主要工程	事業契約締結	工事着工		施設引渡し供用開始				事業終了
事業計画	出資 SPC 設立	資金調達			サービス提供			SPC 解散
調査	地盤調査等							
設計	基本設計	実施設計						
建設工事		準備工事 基礎工事	躯体工事	フィールド工事				
運営維持管理			開業準備		運営・維持管理			
民間自主事業			太陽光設備設置			民間自主事業		



施設計画

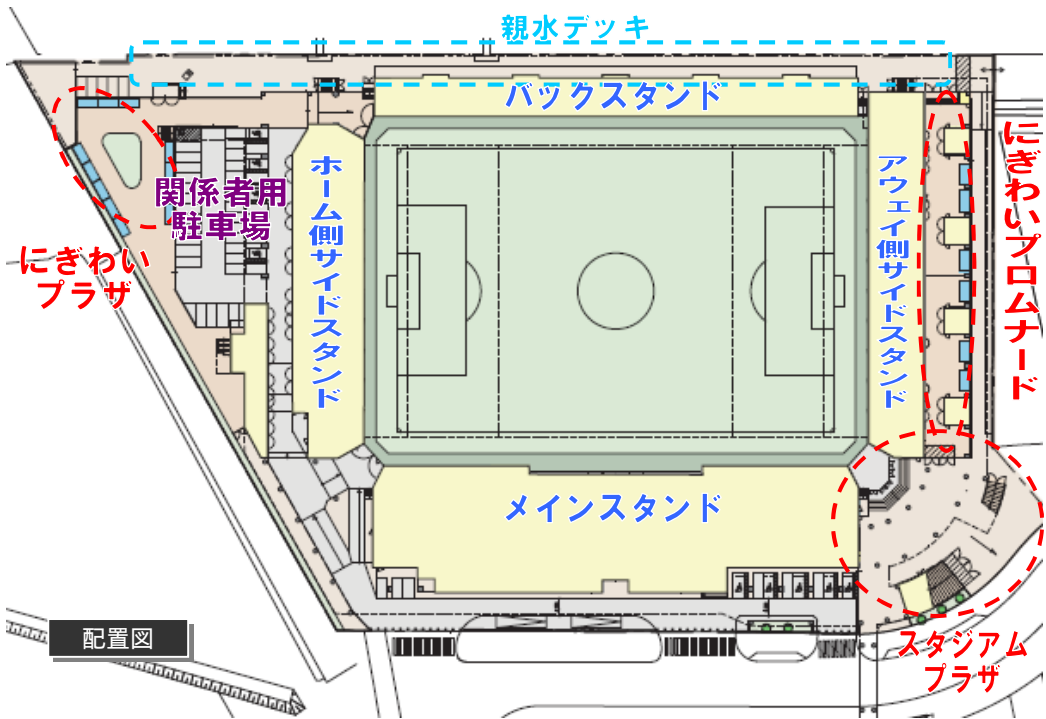
新たな北九州市のシンボルとなる象徴的なスタジアム

5. 配置、動線計画

国内でも例のない海に面した敷地条件であることから、船のマストをイメージする吊構造の屋根デザインを採用し、工業都市北九州市の新たなシンボル施設となる外観デザインとします。

敷地内には南側に「スタジアムプラザ」、北側に「にぎわいプラザ」をイベントスペースとして設けます。

試合以外の日でも近隣の西日本総合展示場等との連携を図りながら、様々な目的で訪れた方々との交流を深め、小倉駅新幹線口の活性化に寄与します。



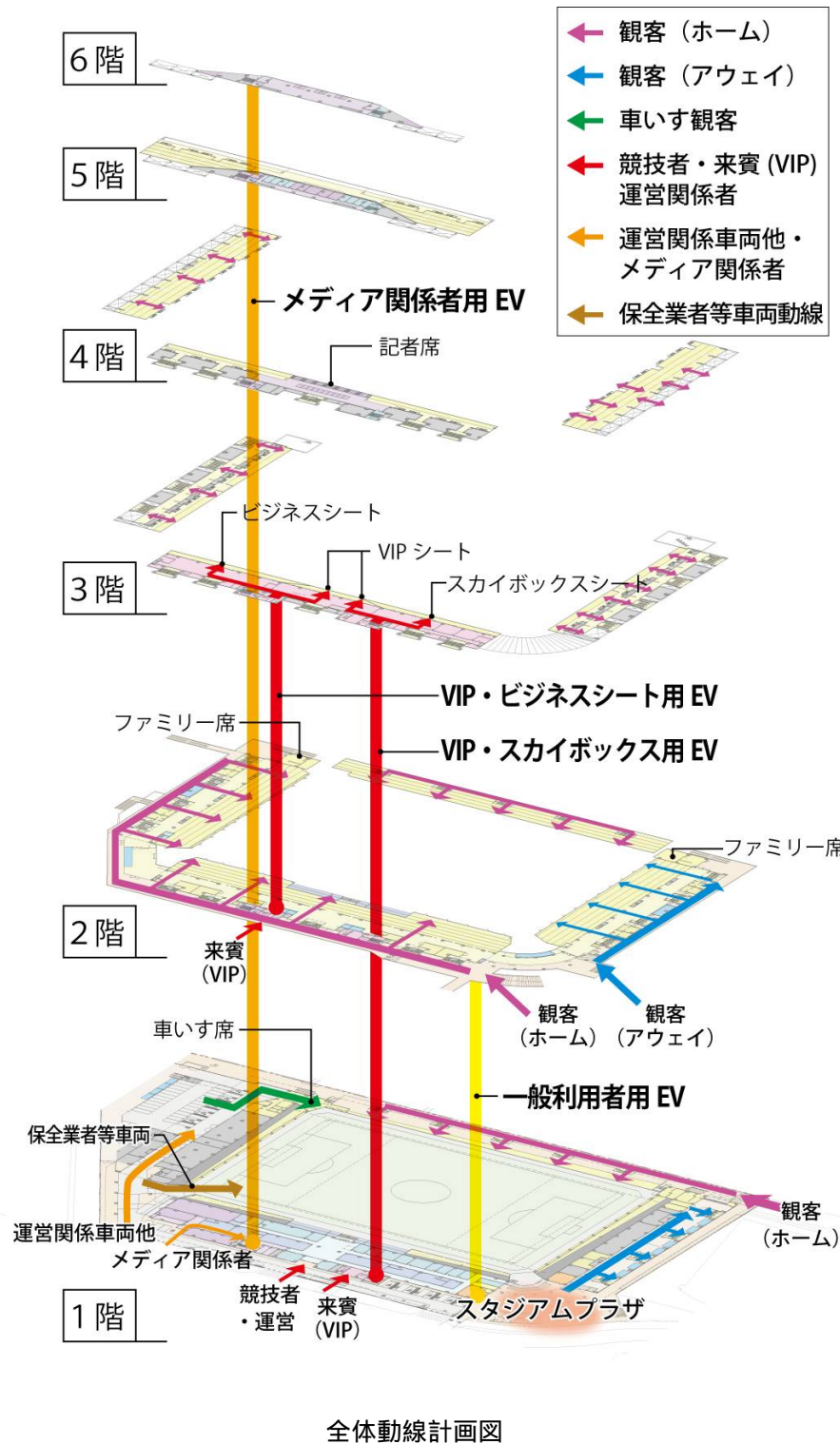
【周辺施設との関係】

小倉駅新幹線口地区の拠点性を活かし、周辺施設との連携に配慮した施設配置を行います。敷地南側にイベントスペースとして活用可能な「スタジアムプラザ」を設けることで、地区の回遊性を生みだし、地区の活性化に貢献します。



「スタジアムプラザ」イメージ

開放的な雰囲気を生み出しながらも、施設はコンパクトに配置し、関係者と一般客、ホームとアウェイの観客席などの動線は明確に分離します。観客のスムーズな移動を促し、衝突を防ぎます。



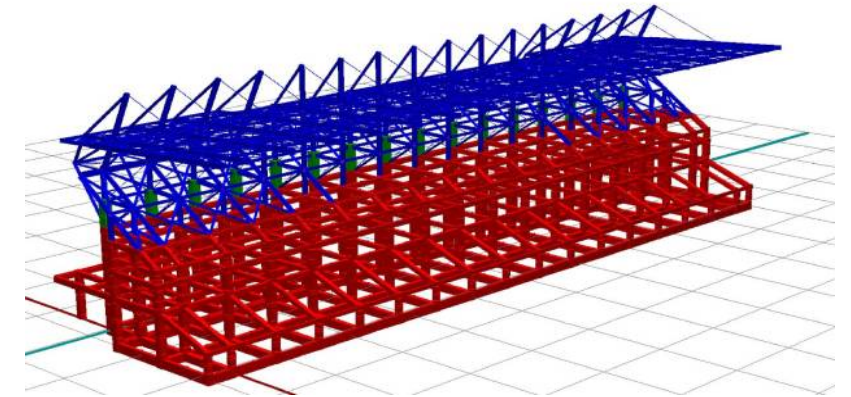
全体動線計画図

誰もが安心して利用できるバリアフリーの空間にすると共に、ユニバーサルデザインを採用し、誰にとっても使いやすいスタジアムとすることを心がけます。また、VIP席、ファミリー席など、多様なファン層のニーズに応える、様々な観客席を設けています。

6. 構造計画

耐震性能は、建築基準法で定める最大の地震の1.25倍の地震に対しても倒壊しない安全性の高い構造躯体としています。

屋根のメインフレームの鉄骨は、吊屋根構造とパイプトラス構造を組み合わせた架構により軽量化し、高剛性の鉄骨造スタンドに支持させることで、鉄骨量の削減と高い耐震性を実現します。



躯体イメージ(赤:RC、青:鉄骨)



運営・維持管理・民間自主事業・エリアマネジメント

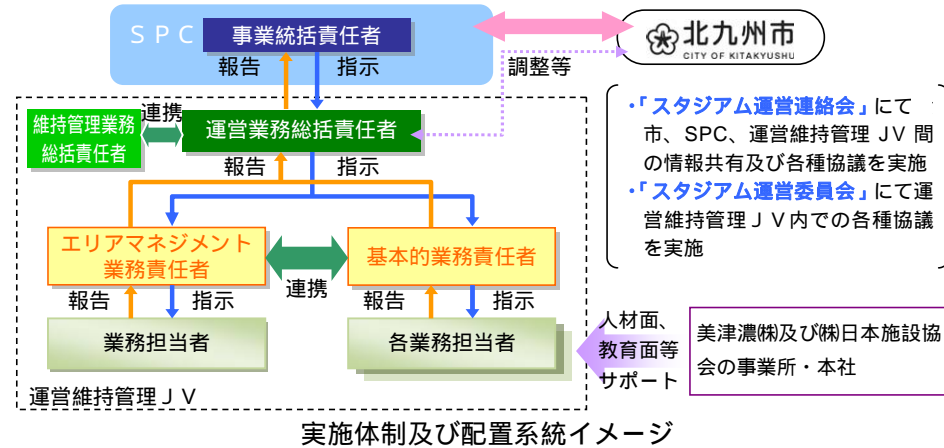
人を元気に、街を元気にするスタジアム運営

7. 高いサービス水準を保つ運営体制

以下の取り組み方針のもと、市民に長く愛されるスタジアムを創出します。

スタジアム利用者（アスリート、観戦者等）に快適な環境を提供します
効率的で効果的な販促活動を継続して実施します
多様なスポーツ施設の運営実績に基づいたきめ細やかな運営を行います
類似施設の運営経験者をはじめ、適材適所な人員を配置します
エリア全体の活性化を図るために周辺機能との連携を強化します

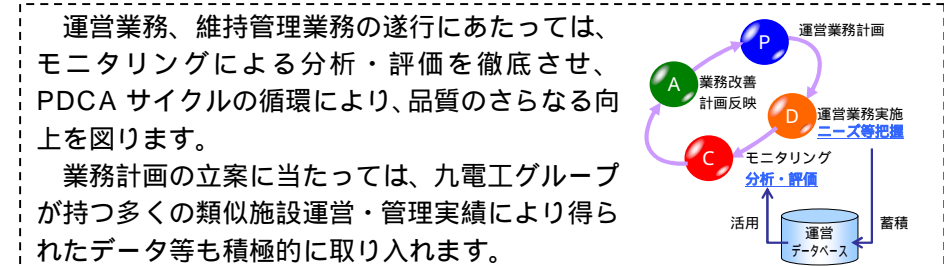
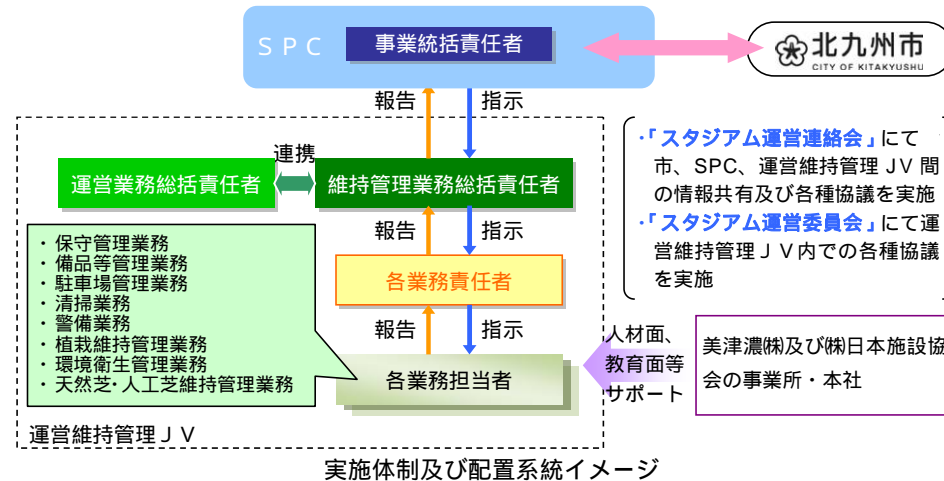
運営にあたっては、様々な利用者ニーズの把握を行い、運営業務に反映すると共に、「スタジアム運営連絡会」「スタジアム運営委員会」を組織し、市を含む関係者との綿密なコミュニケーションから意識の共有を行うことでサービス水準の確保・向上を図ります。



8. 質の高い維持管理による高い品質の確保

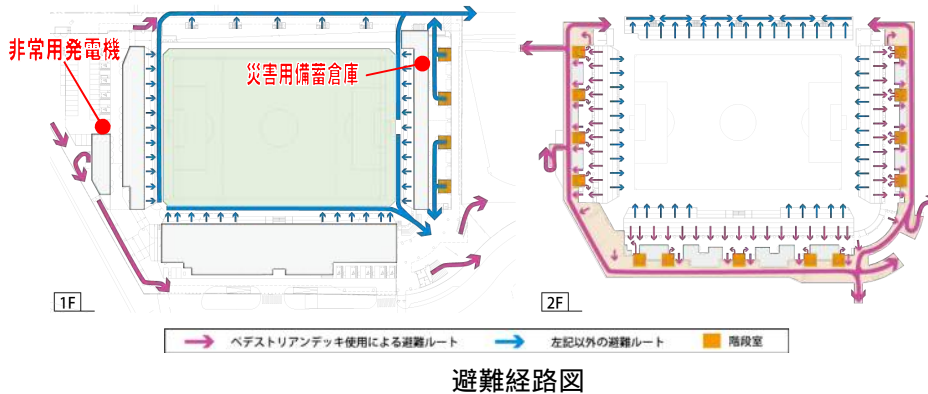
維持管理業務にあたっては、「事業期間中の施設等の機能及び性能等を、適正な状態で保持」することを取組方針とし、予防保全の観点からライフサイクルコストの縮減を目指したマネジメントを実施します。

責任者には類似業務の経験者を配置し、各業務担当者に的確に指示します。また「スタジアム運営連絡会」「スタジアム運営委員会」に参加し、維持管理水準の確保・向上を図ります。



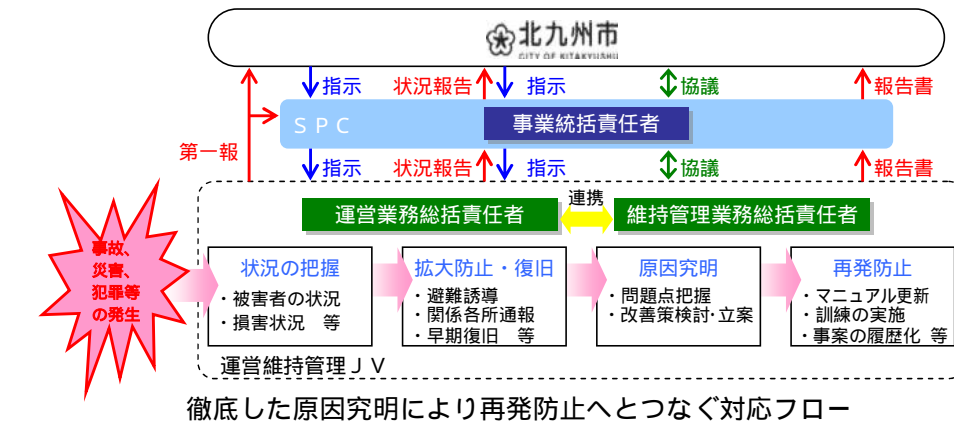
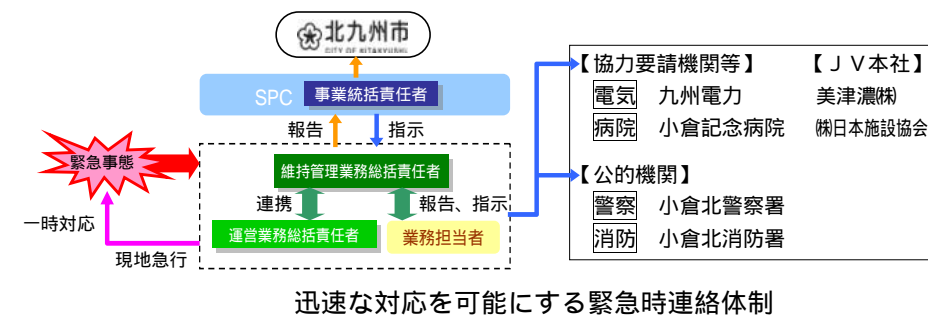
9. 非常時の備えも万全な安全・安心のスタジアム

万一の災害時には安全かつスムーズな避難が可能となる経路を設けると共に、非常用発電機、備蓄倉庫の確保により、防災拠点としても機能します。



事故・災害等の発生に備え、対応マニュアル、連絡体制を整備し、運営業務、維持管理業務担当者をはじめとしたスタッフ全員に各種研修・訓練等を実施します。

観客等の安全を第一に考えながら、施設の維持、早期回復を図り、事故・災害等の被害を最小限にとどめます。



10. 環境未来都市北九州市にふさわしいエコスタジアムの実現

本事業にあたっては、おもに以下のような環境配慮を行い、環境未来都市北九州市にふさわしい整備を行います。

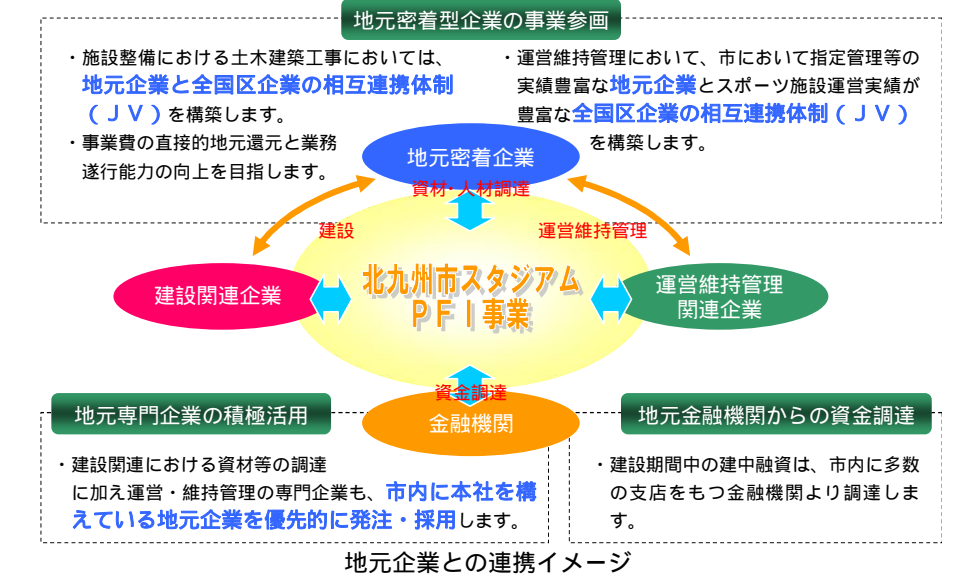
- 民間自主事業として、メインスタンド屋根に196kWの太陽光発電設備の設置を予定しています。
- 建設にはリサイクル性の高い材料、人体や環境に影響の少ない材料を積極的に使用します。
- 高効率型蛍光灯やLED照明等の採用、雨水の便器洗浄水使用等により省エネ、省資源を図ります。



太陽光発電設備設置イメージ

11. 地域へ貢献する様々な方策

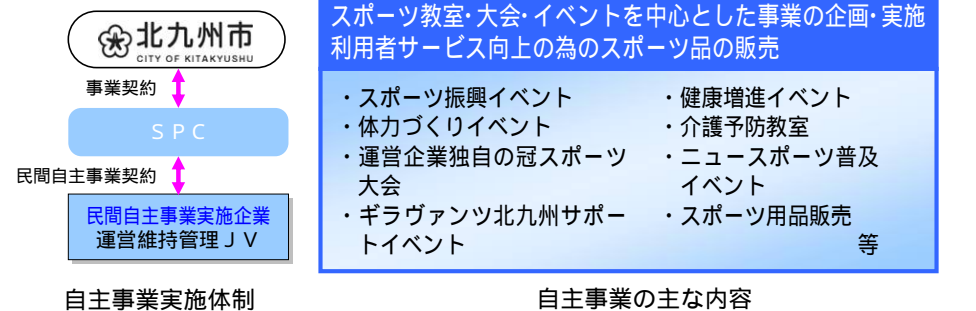
九電工グループでは様々な角度から地元企業との連携体制を構築し、人材や備品、資材調達についても地域の活用を図ります。



12. 魅力的な自主事業の実施

九電工グループでは、本施設の「利用促進」と「市民へのスポーツ振興」及び「周辺地域を含めたにぎわいの創出」を目的として、様々な自主事業を企画・実施します。

民間自主事業はスタジアム事業とは別のスキームで実施するため、SPCの事業性に影響を与えることなく、運営維持管理業務とのきめ細かな連携を図ることが可能となり、より効率的で効果的な事業遂行が可能となります。



13. 地区の活性化を図るエリアマネジメントへの積極協力

小倉駅周辺の商店や各企業、団体等と連携・協力を図り、小倉駅周辺の活性化と施設の有効活用のため、以下の取り組み方針のもと、健康・スポーツ活動の魅力を伝えるマーケティング活動を提案します。

小倉駅周辺のスポーツ拠点として位置づけ、トップアスリートとの触れ合いや、チームとファンが一体となるイベントの開催等により、街のにぎわいを創出します。プロスポーツのみではなく、健康運動の一環として各種教室や大会を企画、実施し市民の健康の高まりと地域の活性化に寄与します。

小倉駅新幹線口地区におけるチームの一員としての自覚を持ち「小倉駅新幹線口地区振興連絡会」に加入し、様々な団体、機関、施設との連携を図ります。

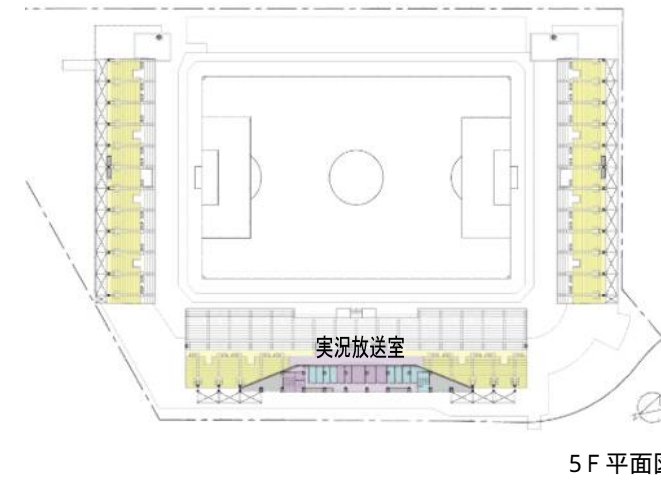
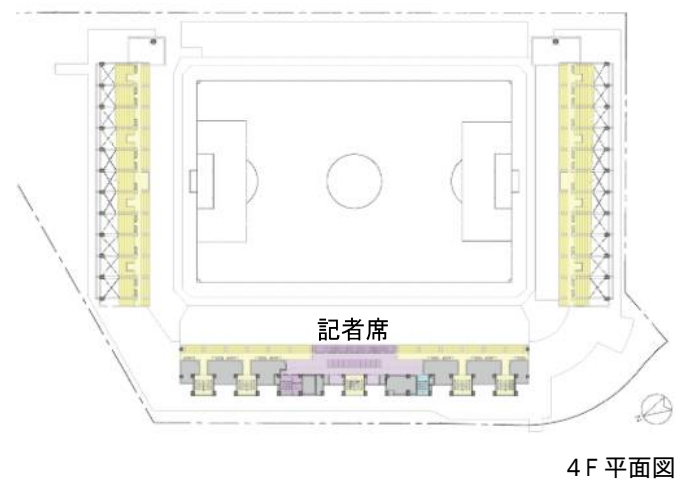
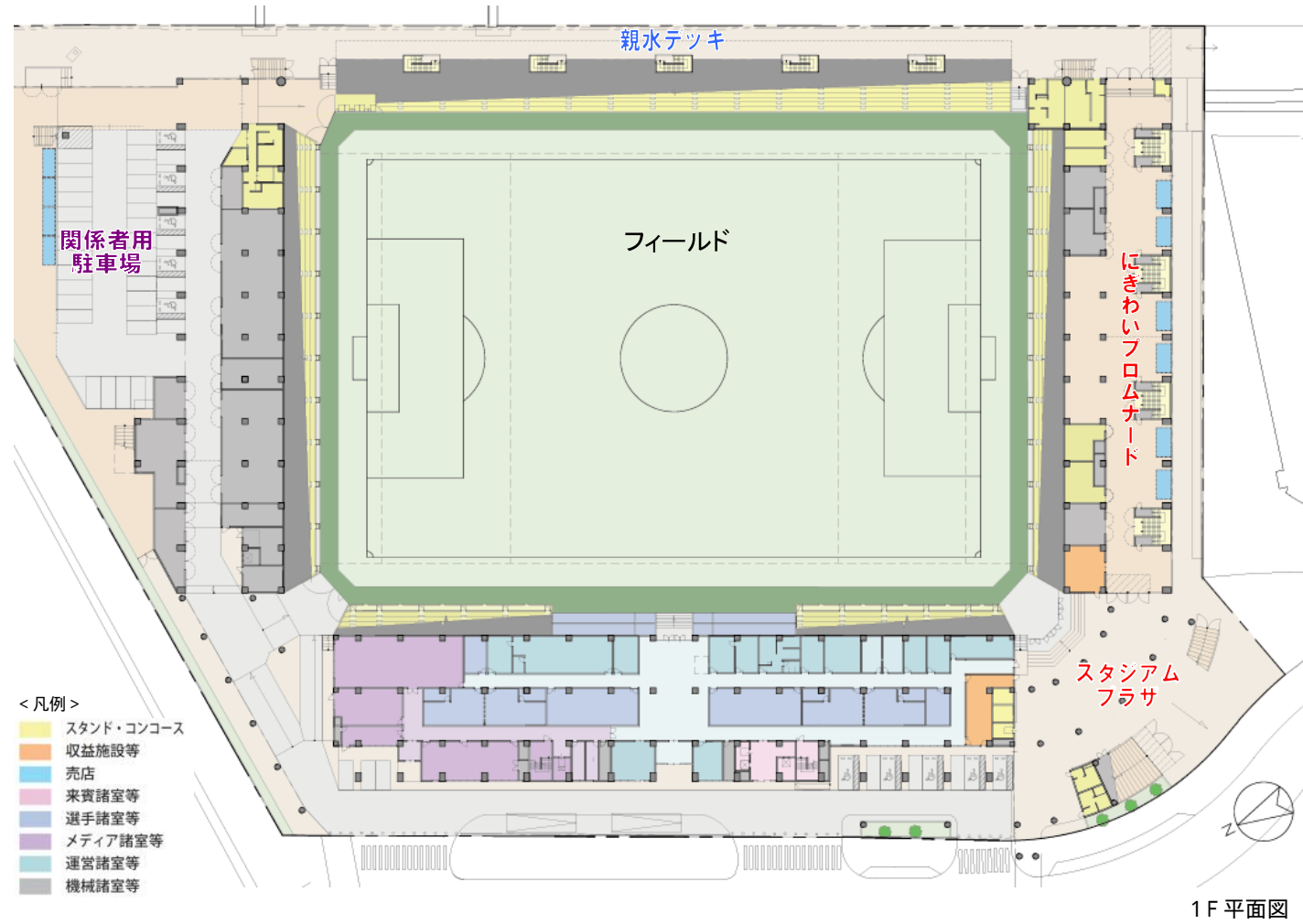
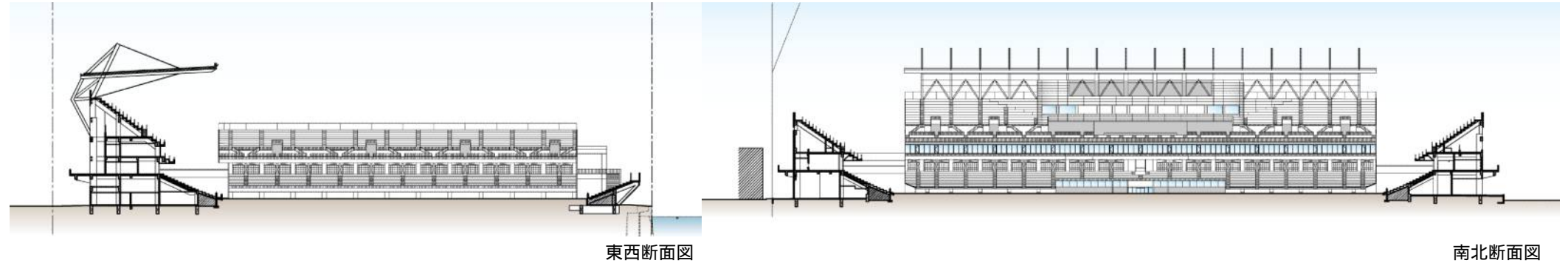




建築概要、面積表、平面図、断面図

【建築概要】

項目	内容	項目	内容
敷地面積	27,304.55 m <sup>2</sup>	階数	6 階
建築面積	10,859.58 m <sup>2</sup>	高さ	37.20 m
延床面積	19,784.32 m <sup>2</sup>	構造	RC 造一部 S 造
(フィールド)	8,952.90 m <sup>2</sup>	駐車場台数	65 台
(観客席)	6,911.44 m <sup>2</sup>	自転車駐輪場台数	90 台
容積対象床面積	18,671.71 m <sup>2</sup>	緑化率	32.78 %
容積率	68.38 %		
建ぺい率	39.77 %		



現計画は、提案時のものです。今後変更になる可能性があります。